

（株）日立製作所との共創プロジェクトについて

1 概要

- (1) 市では、デジタルを活用した次世代未来都市スマートシティの実現に向けた共創プロジェクトに関する包括協定を、（株）日立製作所と締結した。（令和5年12月21日締結）
- (2) 当該プロジェクトでは、市が直面する課題のうち、大きく3つのテーマを設定し、（株）日立製作所と市が、課題解決の糸口を共に検討する。

2 テーマ

- (1) 「グリーン産業都市の構築に関すること」

産学官による地域脱炭素社会の実現を目指し、デジタル技術を活用した地域内再生可能エネルギーの融通などにより、中小企業を含む地域産業の脱炭素化の推進を図る。

- (2) 「デジタル医療・介護の推進に関すること」

健康・医療・介護領域のデジタル化による「住めば健康になるまち日立市」の実現を目指し、住民の健康維持・増進のための施策におけるデジタル化の推進を図る。

- (3) 「公共交通のスマート化に関すること」

多様な移動手段を組み合わせた、誰もが移動しやすい公共交通の実現を目指し、地域の交通手段のシームレスな利用や利便性の向上に向けたデジタル活用を検討する。

【公共交通のスマート化】



3 公共交通のスマート化に向けた取組概要

慢性的な幹線道路の渋滞や、山側住宅団地における高齢者・免許返納者の移動手段確保等、交通・移動に関する複数の課題解決のため、誰もが移動したいときに移動できる、自家用車利用に代わる新たな移動手段を実現することを理想とし、2035年の将来の「日立市の交通のあるべき姿」をグランドデザインとして、以下のような具体的な取組を段階的に計画・実行する。

(1) 多様な公共交通の経路検索ができる統合アプリの導入検討

多様な交通手段を組み合わせた経路検索等、シームレスな移動を可能とするアプリ等の導入を検討する。

(2) 高齢者向け次世代モビリティの導入検討

高齢者が自宅から路線バス等の交通結節点までの移動を支援するため、次世代モビリティの導入を検討し、年齢、身体的条件に左右されず、誰もが利用しやすい移動手段の確保を図る。

(3) 通勤者向け次世代モビリティの導入検討

電動キックボードや電動自転車などの新たなモビリティの導入を図り、公共交通との連携を検討する。

4 グランドデザイン（案） 資料8-2のとおり

以 上